

Computex 2015で注目を集めた ベンチャーパビリオン/台湾ベンチャー事情(2)

台北市コンピュータ協会駐日代表 吉村 章

■ 5 ■ 電源コンセントにそのまま差し込む画期的な超ミニ PC

LinkNext (聯齊科技)

製品名は「NextDrive Plug」(ネクストドライブ・プラグ)、大きさ5 cmほどのキューブ型の超ミニ PC。本体をそのままコンセントに差し込む。本体には無線モジュールが内蔵されている。USB 接続でハードディスクに繋がないでければ、外出先のスマートフォンからクラウド環境を手軽に利用することができる。スマートフォン用にファイルや写真のバックアップをするパーソナルクラウド環境を構築するデバイスとして利用することができる。

利用者は本体をコンセントに差し込んで NextDrive Connect (専用アプリ) を立ち上げておけばいい。Wi-Fi で接続で外出先のノートブックやタブレットからの利用も可能だ。本体には複数の USB ポートがあり、Web カメラやハードディスクなど複数のデバイスを接続することが可能だ。

さまざまな USB デバイスがスマートフォンを使って簡単にコントロールできるようになり、スマートフォン同士の互換性を気にすることなく、共有のクラウド環境を作ることもできる。まさに IOT 時代にマッチした時代をリードする電源タップ型の超小型ミニ PC である。

例えば、USB 接続でカメラを繋いで設置しておくと、その場ですぐ監視カメラとして利用することができる。コンセントさえあれば設置場所を選ばず、狭い場所での設置や手軽に設置場所を移動することも可能だ。コンセントに本体を差し込

み、カメラを繋いで NextDrive Connect (専用アプリ) を立ち上げるだけという簡単さと使い勝手のよさが「強み」である。

また、USB 接続で CD プレーヤーを繋いでおくと外出先から音楽を聞くこともできる。大容量のハードディスクを繋いでおくとホームサーバー的な利用も可能だ。接続するハードディスクによって容量に制限なし。USB ポートは複数あり、同時に複数の機器を接続して使うこともできる。

例えば、カメラを子供部屋に設置したり、家中にある家電製品の集中管理に使ったり、さらに複数の「NextDrive Plug」を使って部屋ごとにカメラを設置し、オフィスや家の中のセキュリティに活用したり、さまざまな用途が考えられる。手軽さ、便利さ、コストパフォーマンスのよさ、使い方を工夫すれば無限の可能性を秘めた製品だ。

LinkNext (聯齊科技) の成立は 2013 年末、5 人で創業した。まだ設立間もないベンチャー企業である。IC 設計やスマートフォンの研究開発、アプリ開発、クラウド技術などに「強み」を持つ。今回のパビリオン主催にも名前を連ねている Epoch(時代創造) が運営する Garage + インキュベーションセンターに入居。

独特な発想で製品開発を行い、設立間もないながらも開発力とその実績には業界から一定の評価を受けている。(TCA 東京事務所では有志でサンプルを購入し評価中。興味がある方はご連絡ください。TEL : 03-3299-8813)

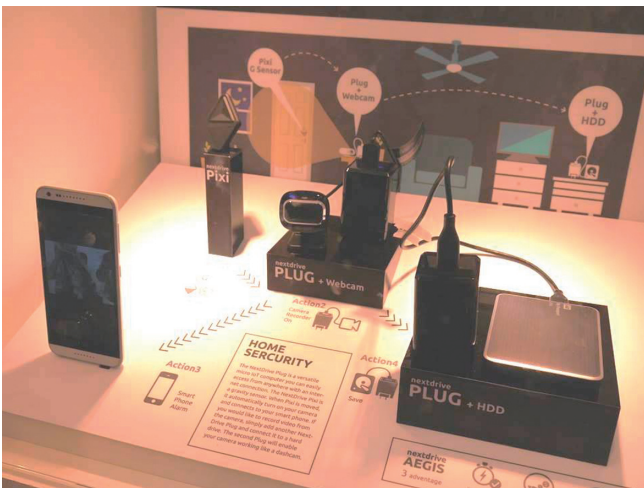
➤ NEXTLINK TECHNOLOGY CO., LTD. (聯齊科技)

台北市汐止区大同路 1 段 126 号

No. 126, Section 1, Datong Rd, Xizhi District,



たとえば USB 接続でカメラを繋いで設置しておくと、その場ですぐ監視カメラとして利用することができる



本体をそのままコンセントに差し込むという斬新な発想の超小型 PC

New Taipei City, Taiwan
 TEL : + 886-2-2691-7071
 FAX : + 886-2-2691-8071
<http://tw.nextdrive.io>

■ 6 ■ フレキシブルに曲げることができる厚さ 0.36mm の薄型リチウムセラミックバッテリー

Prologium Tecnology Co.,Ltd. (輝能科技)

昨年の Computex2014 でも注目を集めたフレキシブルリチウムセラミックバッテリー。昨年に引き続き今年も Computex のスマテク・エリア (Smart Technology Application & Products) に

最新製品を出展。この製品の特徴は従来のようなバッテリー内に電解液を使用するのではなく、固体型リチウムセラミックを使うところ。来場者の関心が高く、昨年と同様にブースはいつも人垣ができていた。

バッテリーを組み込む対象によって大きさ、形などをフレキシブルに変えることができる。また、自由自在に折り曲げることもできるので、時計のベルトの中やスマートフォンのケースのヒンジにあたる部分などに組み込むことも可能。厚みはわずか 0.36mm、さまざまな利用用途が考えられる。

担当者によると「自由な発想でデザインしたバッテリーケースを 3D プリンで出力し、特殊用途で使うバッテリーや自分だけのオリジナルバッテリーを作ることもできる」という。外付けのバッテリーとして手袋や帽子、ベルトや靴、衣類にマッチする形を工夫してバッテリーを装着し、身に付けるものから電源供給を受けることも可能。このような使い方も夢ではないという。

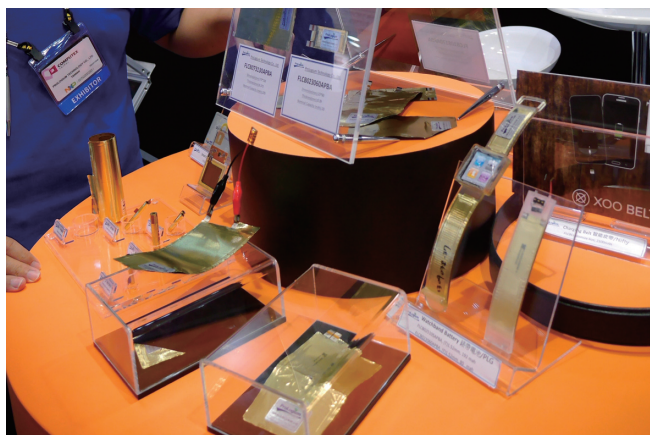
また、狭い空間を有効活用してバッテリースペースを確保したいケースにも最適。さらに製品の試作や少量生産のモデルへの対応など、さまざまな需要がありそうだ。実施に 3D プリンタで出力した特殊な形状の成型部品に、このバッテリーを組み込んで使うといった使い方の事例も報告されている。

自社開発の FLCB (FPC Lithium-Ceramic Battery) は「安全性」にも十分に配慮され、曲げても液が漏れない固体の電解質を使っている。ニードルのようなもので突き刺しても、ハンマーでたたいても、はさみで切っても、熱を加えても、ショートしたり発火したりしない。昨年の Computex では Best Choice Award と d&i award イノベーション設計賞を受賞した。

➤ Prologium Tecnology Co.,Ltd. (輝能科技)
 新北市五股区五工路 127 号 4 F



自由自在に折り曲げることもできるので、時計のベルトの中やスマートフォンケースのヒンジにあたる部分などに組み込むことも可能



厚みはわずか0.36mm、3Dプリンタで出力した特殊な形状の成型部品に、このバッテリーを組み込んで使うとオリジナルバッテリーができる

4F, No. 127, Wugong Rd, Wugu District,
New Taipei City, Taiwan
TEL : + 886-2-2299-5486
FAX : + 886-2-2299-5878
<http://www.prologium.com/>

■ 7 ■ 3Dプリンタ「ダヴィンチ」、価格攻勢で世界市場を狙う XYZprinting XYZprinting (三緯國際立體列印科技)

Computex2015では第1ホールに3Dプリンタ・エリアを設置。昨年まではスマテック・エリア

(Smart Technology Applications & Products) に3Dプリンターパビリオンが設けられていたが、今年は独立して第1ホールへのパビリオン設置となった。

XYZ Printingは「ダヴィンチ」というブランド名で個人ユース向けに3Dプリンタの普及を目指している。「ダヴィンチ」シリーズは同社の主力製品。普及モデルからハイエンドモデルまで多彩なラインナップがある。ブースではレーザーマーキング機能を搭載しているモデルを展示し、実際に文字を刻印するデモを行っていた。

3Dプリンタは低価格化が進んでいる。その低価格化の動きを世界の市場でXYZprintingがけん引していると言えそうだ。XYZprintingでは定評がある「ダヴィンチ」シリーズを日本向けに約5万円という価格帯で販売予定。このモデルは造形サイズには限界があり、あまり大きなものは作れないが、この大きさで十分という人には魅力的な価格。3Dプリンタは今後ますます普及が見込まれる。

XYZprintingは新金宝グループ(新金宝集団)の一員。2013年に3Dプリンタを自社ブランドで展開するために設立された。新金宝グループ(新金宝集団)では世界大手の印刷機メーカーのOEMを手掛けてきた。プリンタ関連製品や基盤実装、電卓や電子ピアノなどのOEMも行っている。

その新金宝グループ(新金宝集団)は金仁宝グループ(金仁宝集団)の傘下にある。金仁宝グループ(金仁宝集団)とは複数の企業集団を傘下に抱える世界的な総合EMS企業である。大手パソコンのEMSメーカーであるCompal Electronics(仁寶電腦工業)も金仁宝グループ(金仁宝集団)の一員。新金宝グループ(新金宝集団)は中国、ベトナム、ブラジル、ポーランドなど世界各地に生産拠点を持つ。

XYZprinting(三緯國際立體列印科技)は3Dプリンタに特化してオリジナルブランドによる製



XYZ Printing は「ダヴィンチ」シリーズ、日本向け5万円を切るモデルも

品開発に取り組んできたメーカー。製品名は「ダヴィンチ」で、いち早く低価格化を打ち出し、欧米の市場からは高い評価を受けている。

また、3Dプリンタの他にも植物工場などの製品開発も行っており、新規分野への積極的な進出を試みているベンチャースピリッツに溢れた企業である。Computex のブースでは室内でレタスなどの野菜を栽培できるキットも出展していた。植物工場というよりはむしろパーソナルユースでインテリア性の高い製品。リーズナブルな価格帯となれば、今後日本でも普及しそうな製品である。

また、ダヴィンチシリーズには3Dフードプリンタもある。これはノズルから食用素材を噴出し、クッキーやチョコレートの造形が可能な3Dプリンタで、アメリカのCESでも話題になった製品。プリントアウトしたクッキーをそのままオーブンで焼いたり、チョコレートで細かな造形

細工を作ったり、文字の描画などでもできる。

食べ物以外でもオリジナルの形をそのまま3Dプリンタでコピー出力して、まったく同じ形のクッキーやお菓子を作ることができるわけで、アニメキャラクターをそのままお菓子にしたり、食べられるフィギアを作ったり、考えるだけでも楽しい製品である。

Computex 第1ホールの3Dプリンタ・エリアには他にもさまざまな3Dプリンタや3Dスキャンが出展されていた。ノズル部分をさまざまなアタッチメントで変更が可能な3Dプリンタや3Dスキャナ内蔵型なども出展。Computexでは近未来のコンセプトモデルや試作品ではなく、市販が予定されている最新モデルが見ることができる。Computexならではの製品展示といえるだろう。



ノズルから食用素材を噴出し、プリントアウトしたクッキーをそのままオーブンで焼くこともできる。3Dスキャンで読み取ったフィギアをそのままお菓子にすることも

➤ XYZprinting (三緯國際立體列印科技)

新北市深坑區北深路三段147號

TEL: +886-2-2662-2660 ext.28761

<http://us.xyzprinting.com/>

info@xyzprinting.com

<http://jp.xyzprinting.com/>

台湾ベンチャーについて、イノベーションテーマパビリオン (創新創造主題館) については、TCA 東京事務所まで。(03-3299-8813、e-mail:ippc@tcatokyo.com)